

プロフィール

所在地	広島県東広島市
団体名	広島大学大学院人間社会科学研究科附属 特別支援教育実践センター
活動名称	障害のある人の学び・暮らしの力を支える実践的活動
PRポイント	障害のある人もない人も、 共にグローバルな活躍をめざそう！
連携している 団体等	幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、 大学、行政(教育委員会他)

功労者表彰

活動分野	学習
主な対象	知的障害、視覚障害、 聴覚障害、肢体不自由、 発達障害等
団体の規模	学生 45名 教員 12名

活動の説明

①活動内容	教職員と学生がチームを組み、地域と連携を図りながら、①「アートは生活と社会を変える」、②「視覚障害者のための iPhone 活用研修会」、③「吃音のある学生のための就活講座」、④「特別支援教育サポーター活動」等の活動を実施してきました。①では、教育委員会や認定 NPO 法人、障害当事者、教職員、学生が連携し、障害者アートによる街づくりや商品開発を、②では、市販や自作アプリを弱視児者に紹介し、活用する機会を設けることで見えにくさを改善し、生活や学びの向上につなげる活動を、③では、吃音のある求職者に対し、流暢性を促す発話練習、面接の心構え、効果的プレゼンテーション方法等を指導する活動を、④では、教育委員会と連携して実施している活動で、学生が課外活動の一環として、公立小中学校を訪問し、教員の補助として、多様なニーズのある児童生徒を指導する活動を実施してきました。
②活動の経緯・ 体制	特別支援教育の開始を契機に、地域や学校、医療機関、保護者からの相談が増えたことから、従来は教員が個人的に実施していた教育相談・臨床活動を、本学内外における強固な連携を図り、組織的な実施体制を整え、地域貢献の一環として本活動を実施することとなりました。活動に参加した先輩から後輩への指導、障害当事者同士で交流を持てる機会を設けるなど、活動を広げ、深めるための工夫をしています。
③活動の効果等	昨年実施した教育相談・臨床件数は 729 件であり、国内外からの利用実績があります。また、学校や医療・療育機関からの紹介による事例も増加しています。当センターでは、本学内外と連携を図りながらこうした活動を組織的に展開することによって、地域の特別支援教育の推進や、障害当事者の生活の質の向上といった効果が見られるようになりました。

活動の様子

	
「アートは生活と社会を変える」展示会の様子	「視覚障害者のための iPhone 活用研修会」の様子